エラストマー・インフラソリューション部門
Elastomer Infrastructure Solutions

執行役員
エラストマー・インフラソリューション部門長

高橋（たかはし） 晃哉（こうや）

部門長メッセージ

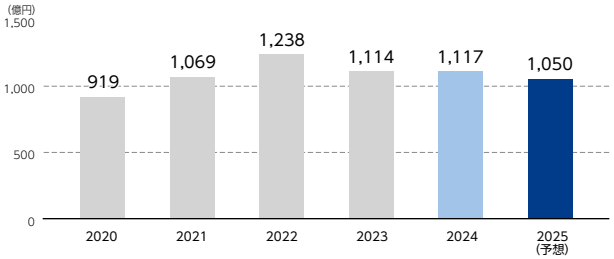
当部門は、クロロプレンゴム（CR）や石灰窒素など創業以来のカーバイドチェーンを活かした製品や、特殊混和材やコルゲート管などの国土強靭化に資する製品など、有機から無機まで幅広い技術で社会に貢献する製品を提供しています。
また、国内有数の規模を誇る青海工場の水力発電所の有効活用や、バイオスティミュラント、カーボンネガティブコンクリートの技術で、サスティナビリティな世界への貢献にも積極的に取り組んでいます。2025年度を当部門にとって大きな変革の年と位置づけ、各種施策を着実に実行してまいります。
米国のCR事業につきましては、期限を定めない暫定停止を実施し、CR生産を青海工場へ集約するとともに、事業譲渡や資産譲渡の可能性を含め、あらゆる選択肢を慎重に検討しながら、着実に対応を進めてまいります。
さらに、セメント事業からの撤退など、ポートフォリオ改革を断行し、EIS部門の黒字化の達成と、持続的な成長の実現を目指してまいります。

経営計画「Mission2030」の目標達成に向けた戦略（「3つ星事業」100%に向けた戦略）

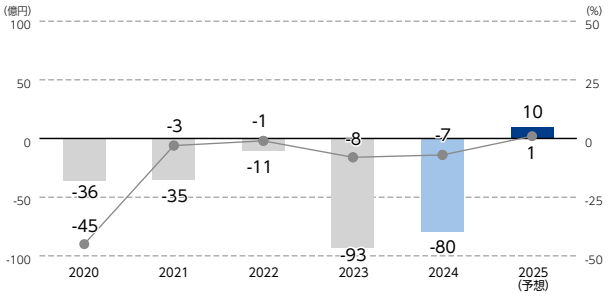
注力分野・マーケット	【主要製品】	【2024年 実績】	【2026年 計画】	【2030年の部門目標】
食料	●バイオスティミュラント※「PRULA」「レコルト」「アヅミン」 ※植物に施用することで健全性を保ち、化学合成農薬の削減にも寄与する農業資材 ●環境保全型肥料「石灰窒素」「ようりん」「とれ太郎」	●気候変動や異常気象の影響により、各国でバイオスティミュラントへの関心が高まる中、日本・中国・台湾において販売を開始、さらに南米および東南アジアでの販売登録も進め、拡販を図る デジタルマーケティングの戦略的活用による、需要の創出と底上げ ①定期的なウェブセミナーの開催 ②LINEを活用した潜在顧客の獲得 ③Webコンテンツの充実	●当社バイオスティミュラント技術の普及と各国市場のニーズに応じた製品開発を推進し、グローバルな事業拡大を加速する	●一人ひとりが自分らしい専門性を身に付けることに挑戦し、世界をより良くする製品を誇りを持って社会に提供することを通じて全社目標の達成に貢献する事業部門へと変革する。 ●低炭素コンクリート製品の普及拡大や農業関連資材の世界展開等を通じてESGへの貢献を図る。
インフラ	●特殊混和材 ●トヨドレン ●カーボンネガティブコンクリート用炭酸化混和材「LEAF」	●カーボンネガティブコンクリートの現場への適用 ●環境負荷低減型早強性混和材「FASTRONG」の世界展開 ●米国のクロロプレンゴム事業の無期限暫定停止（2025年5月） ●セメントの販売終了（2025年9月）	●新炭酸化混和剤の実績化（グリーンイノベーション基金事業成果の社会実装）	

エラストマー・インフラソリューション部門
Elastomer Infrastructure Solutions

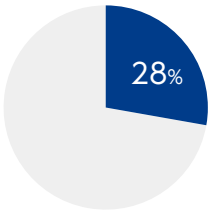
売上高推移と見通し



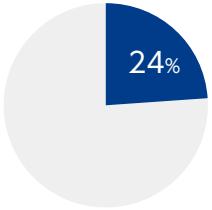
営業利益額/営業利益率推移と見通し



全体売上高に占める割合
(2024年度)



従業員数に占める人員割合
(2024年度)



SWOT分析

強み S

- ●CO_2をコンクリートへ吸収・固定化させる技術
- ●世界最大の生産能力を持つクロロプレンゴム事業
- ●国内有数規模の自社水力発電
- ●電炉・キルン製造の基礎技術保有及び素材の開発力
- ●国内稀有な肥料製造メーカー

機会 O

- ●自然災害被害緩和のための土木構造物強靭化関連需要増加
- ●高度経済成長期に集中的に整備され、一斉に老朽化するインフラ維持更新(リニューアル)需要の増加
- ●世界の人口増加に伴う食糧需要の増大に対応するバイオスティミュラント市場の成長
- ●新興国を中心としたインフラ市場向け拡販
- ●低炭素や省力化ニーズに貢献する製品市場の拡大

弱み W

- ●海外市場におけるブランドネームの浸透(特殊混和材事業)
- ●装置産業特有の固定費増及び製法由来のCO_2排出等
- ●製品ライフサイクル、成熟市場分野での製品展開

脅威 T

- ●カーボンニュートラルに向けた各種環境関連規制の拡大
- ●国内の人口減少による建設・農業市場の縮小、労働力不足
- ●世界的な原燃料価格の高騰
- ●市場プレイヤーの世界的な再編

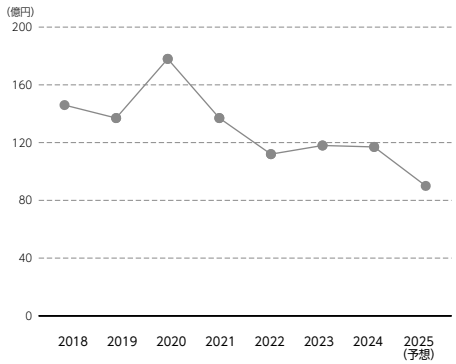
さらなる成長のための「投資」

- ●九州プラスチック工業:コルゲート管増産による国内拡販
- ●地下灌漑システム、バイオスティミュラント、ドローン技術を組み合わせたスマート農業研究開発推進

既存事業強化での「キャッシュ創出」

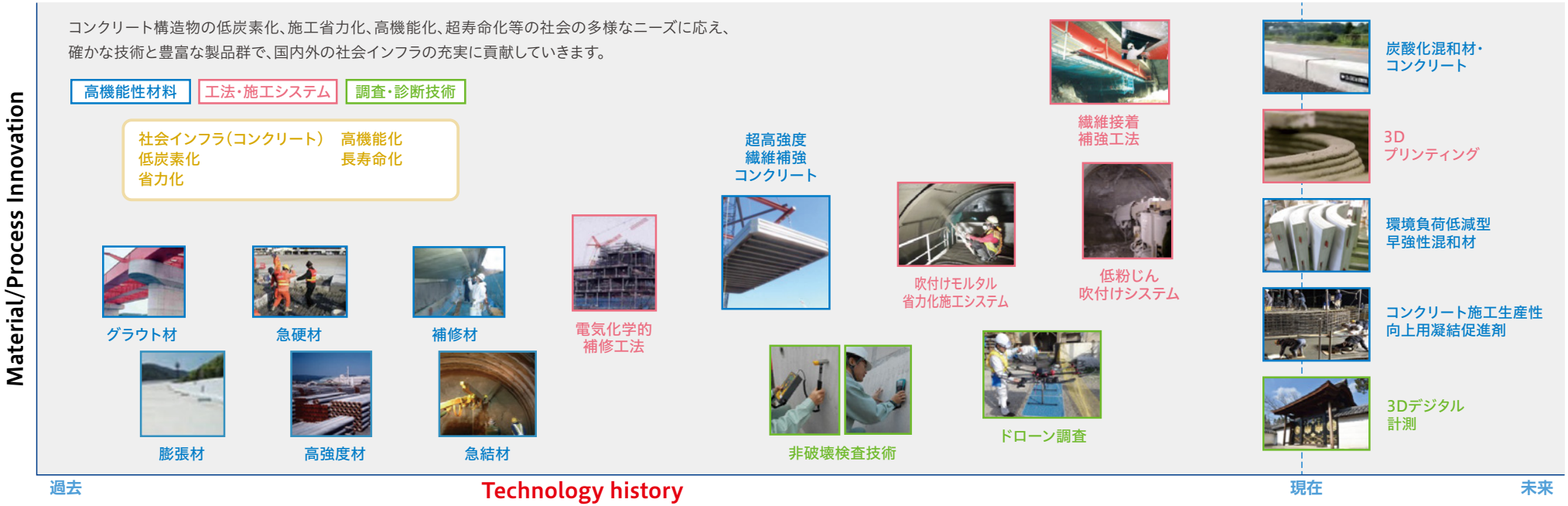
- ●米国クロロプレンゴム工場暫定停止:クロロプレンゴム事業収支改善
- ●バイオスティミュラントのグローバル展開加速、WEBマーケティング強化
- ●プレキャストコンクリート向け環境負荷低減型早強性混和材の展開

投資額推移



エラストマー・インフラソリューション部門
Elastomer Infrastructure Solutions

特殊混和材事業の展開



事業を通じた社会への貢献

●カーボンネガティブコンクリート「CUCO®(クーコ)」プロジェクト

CUCO ホームページ
https://www.cuco-2030.jp/

「CUCO®(クーコ)」プロジェクトは、NEDO(国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構)で採択された当社と鹿島建設株式会社、株式会社竹中工務店の3社が幹事会社の「グリーンイノベーション基金事業/CO_2を用いたコンクリート等製造技術開発プロジェクト」を実施する55社で構成されたコンソーシアムです。本プロジェクトを通し、高いレベルで汎用性のあるカーボンネガティブコンクリートを実現させるため、炭酸化混和材の開発、施工技術の開発、品質評価技術の確立、実社会への本格的な普及を目指します。また、今回の技術開発で取り組む積極的なコンクリートへのCO_2固定化により、脱炭素から「活炭素」へのステージ移行を推し進め、温室効果ガス削減という社会課題解決に貢献していきます。
コンソーシアムの共同開発の成果として、大阪・関西万博にて「CUCO-SUICOMドーム(サステナドーム)」(鹿島建設施工)の躯体の一部に使用された「CUCO-SUICOMショット」やEXPOアリーナの歩道に敷設された「CUCO-SUICOM舗装ブロック」に当社の炭酸化混和材「LEAF®」が使用されています。このコンソーシアムで開発した技術にはCUCOを冠し、社会実装に向けた普及展開を図ります。

CUCO-SUICOMドーム(サステナドーム)

CUCO—SUICOM舗装ブロック